

科目番号	2203	単位	2	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	松本敏治		
科目名	特別支援教育										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標：障害を有する児童生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個々の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法の理解を目指します。</p> <p>テーマ：通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の学習・生活上の困難の理解と支援</p>										
授業の概要	<p>「障害者の権利に関する条約」の批准や「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行などの近年の制度上の動向や学校教育の現状を踏まえ、インクルーシブ教育システム構築における特別支援教育の充実・推進に資するための基本的な知識・支援方法等を中心に授業を進めます。</p> <p>授業の展開にあたっては、多様な見方・考え方に触れ視野の拡大を図るため、講義のほか発表やディスカッション等の場面を適宜設けます。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	Normalizationの理念とインクルーシブ教育システム誕生の歴史的経緯							テキストに事前に目を通しておくこと			
2	インクルーシブ教育システム構築に至る日本の教育制度の変遷							テキストに事前に目を通しておくこと			
3	特殊教育と特別支援教育の相違点及び特別支援教育に関わる制度改正のポイント							テキストに事前に目を通しておくこと			
4	特別支援教育の場と教育・支援内容							テキストに事前に目を通しておくこと			
5	視覚障害、聴覚障害の生活・学習の困難と教育内容							テキストに事前に目を通しておくこと			
6	知的障害、肢体不自由及び病弱・身体虚弱の特性と生活・学習上の困難と教育内容							テキストに事前に目を通しておくこと			
7	LDの特性と支援							テキストに事前に目を通しておくこと			
8	ADHDの特性と支援							テキストに事前に目を通しておくこと			
9	ASDの特性と支援							テキストに事前に目を通しておくこと			
10	貧困や母国語の修得等、生活及び学習環境上の障壁に対する支援							テキストに事前に目を通しておくこと			
11	特別支援教育コーディネーターの役割と校内支援体制の構築							テキストに事前に目を通しておくこと			
12	個別の指導計画等の作成の目的と活用方法							テキストに事前に目を通しておくこと			
13	保護者との協力関係を構築するために必要な情報及び相談の基本							テキストに事前に目を通しておくこと			
14	幼保・小・中学校間の接続と連携							テキストに事前に目を通しておくこと			
15	教員の専門性と校内外の協働							テキストに事前に目を通しておくこと			
テキスト	「特別支援教育の基礎・基本 新訂版」 (独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所) ジアース教育新社										
参考書・資料等	小学校学習指導要領(文部科学省) 特別支援学校小・中学部学習指導要領(文部科学省) 特別支援教育に関する中央教育審議会答申「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」										
評価方法	最終レポート(50%) 授業内レポート(30%) 授業時の協議等の参加意欲など(20%)										
履修上の注意等											

科目番号	2204	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	吉田裕美子		
科目名	人間関係の指導法										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 実践場面における具体的な例を取り上げ、人間関係における内容や問題点を明らかにしていくことで、保育者としての資質を高めていく。</p> <p>テーマ 発達に沿って保育者、家族、友だちとの間に築かれていく人間関係の様子を捉え、保育者としての関わり方を考え学んでいく。</p>										
授業の概要	幼稚園教育要領及び保育所保育指針の基本理念を踏まえた上で、子どもの人間関係をどのように捉えるのか、指導はどのようにあるべきかについて、日々の保育の中で起こりうる子どもの「人との関わり」に関する具体的な事例を考察する。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	保育の基本と保育内容「人間関係」 幼稚園教育要領・保育所保育指針における保育の基本							提出課題：自己紹介カード			
2	乳幼児期における人との関わり の発達 「0・1・2歳児を中心に」							提出課題：レポート「語りかけ育 児について」			
3	乳幼児期における人との関わり の発達 「3・4・5歳児を中心に」										
4	遊びの中で育つ人との関わり 「保育における遊びの大切さ」							遊びの意義と重要性 「遊びと仲間関係」			
5	遊びの中で育つ人との関わり 「相手の気持ちを考える」 「協同性の育ち」							- けんかやいざこざから生まれるもの - グループ発表：事例について自分 の 考えをまとめる			
6	人との関わりを育てる保育の実践 「人と関わる力が育っていくプロセスとは」							グループ発表：事例について自分 の 考えをまとめる			
7	人との関わりを育てる保育の実践 「保育の中で気になる子どもの姿」 「人と関われない、関わらない子どもたち」							発表課題：事例を読み、自分の考 えをまとめる			
8	人との関わりが難しい子どもへの支援 「園生活に馴染めない子の育ち」 「悩む親を支える」							発表課題：事例を読み、自分の考 えをまとめる			
9	保育における個の育ちと集団の育ちについて 「集団の中での役割と責任・道徳性の芽生え」										
10	人間関係の育ちを育む環境 「子どもの育ちを考える保育者同士の関係とは」							- 保育者同士の人間関係 -			
11	人間関係の育ちを育む環境 「園と家庭が子どもを育てる」 「保護者同士の関係を作る」 「子育て支援とは何か」							- 保護者と保育者の人間関係 -			
12	領域の相互の関連性と保育展開 「3歳児の指導計画と実践」							- 指導計画の意義・作成・実践例 -			
13	領域の相互の関連性と保育展開 「4歳児の指導計画と実践」							- 指導計画の意義・作成・実践例 -			
14	領域の相互の関連性と保育展開 「5歳児の指導計画と実践」							- 指導計画の意義・作成・実践例 -			
15	まとめ 「演習の振り返りとその先の課題」 「よい人間関係をつくるために」										
テキスト	田代 和美・榎本 眞実、『演習 保育内容 人間関係—基礎的事項の理解と指導法—』（建帛社）										
参考書・資料等	無藤 隆・岩立 京子 編著『事例で学ぶ人間関係』（萌文書林） 森上 史朗・小林 紀子・渡辺 英則 編著『人間関係』										
評価方法	定期試験（70%）、授業内活動（20%）、提出物（10%） 試験は定期試験期間中に実施する。										
履修上の注意等	実際の保育現場でも応用できるように、具体的な事例をもとに考え、まとめる工夫をしてほしい。										

科目番号	2205	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	佐藤睦子		
科目名	環境の指導法										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼稚園教育要領及び保育所保育指針における保育の内容「環境」について、適切な指導法を身に付ける。</p> <p>テーマ 「環境を通して行う保育とは」をテーマに、保育者自身が子どもにとって最も影響のある人的環境であることを自覚し、望ましい環境を作っていく実践力を身に付ける。</p>										
授業の概要	<p>子どもは自ら環境に働きかけるとともに、環境から働きかけられ、影響を受けながら成長する。乳幼児期の子ども達に必要な環境とは、どのようなものなのか、保育者として子どもたちの育ちを支える環境を通しての援助について演習を通し、適切な指導法を学習する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	オリエンテーション 領域「環境」の位置づけ、幼稚園教育要領及び保育所保育指針における「環境」のねらい、内容について										
2	子どもの発達と領域「環境」 幼児期に相応しい環境と環境構成の実際										
3	子どもと環境のかかわり 研究)	身近な環境の捉え方（自然とのかかわりについての事例									
4	子どもと環境のかかわり	身近な環境の捉え方（自然を感じる保育の指導案作成）									
5	子どもと環境のかかわり	身近な環境の捉え方（生き物に親しむ保育の実際）									
6	子どもと環境のかかわり 成)	身近な環境の捉え方（生き物に親しむ保育の指導案作									
7	子どもと環境のかかわり を考える)	保育室の役割・屋外環境（DVD映像を参考に物的環境									
8	子どもと環境のかかわり	遊具、設備の安全上の配慮									
9	好奇心、興味、関心を育てる環境	生活、遊びの中で文字、標識に触れる活動									
10	好奇心、興味、関心を育てる環境	生活、遊びの中で数量、図形等に触れる活動									
11	好奇心、興味、関心を育てる環境 心を引き出す遊びの考案、教材づくり	文字、図形、数量、標識への子どもの興味、関									
12	身近な素材や自然物を用いた保育の指導法の研究（模擬保育）										
13	身近な素材や自然物を用いた模擬保育の振り返り										
14	地域に関わる活動 園内外の行事・地域の人々との交流にかかわる保育についての研										
15	環境に関わる現代的問題 インクルーシブ保育（障害のある幼児、外国籍の幼児への配慮） 「DVDを活用した情報共有（タブレット活用含む）」										
テキスト	幼稚園教育要領（平成29年3月31日告示 文部科学省） 保育所保育指針（平成29年3月31日告示 厚生労働省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月31日告示 内閣府・文部科学省・厚生労働										
参考書・資料等	必要に応じて資料プリントを配付する										
評価方法	定期試験は行わないため、レポート課題を30%、その他の提出物（指導案や教材など）を50%、グループ発表及び授業参加としての平常点を20%とし評価します。										
履修上の注意等	自然環境や生活環境から季節を感じたり、その変化に気づき、楽しむことを日常の生活において意識してほしい。また、普段から保育や教育に関連するニュースや報道に関心を向け、自分の考えを述べたり、自分以外の人の考えを知ろうとする姿勢を大切にほしい。										

科目番号	2206	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	佐々木典彰		
科目名	言葉の指導法										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	到達目標 領域「言葉」の意義や諸理論をふまえ、絵本や紙芝居などの具体的な保育教材を用いて保育を構想する実践力を身につける。 テーマ 領域「言葉」に関する実践										
授業の概要	領域「言葉」に関する理論を復習しながら、保育現場で即戦力として実践できるようになるために、絵本や紙芝居などの具体的な保育教材を取り上げて指導案を作成し、模擬保育を行う。そして各自の課題を明確にする。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	「言葉」とは							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
2	領域「言葉」の歴史							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
3	領域「言葉」のねらい、内容、内容の取扱い							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
4	言葉の発達促進（話し言葉を中心に） 情報機器の活用を含む							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
5	言葉の発達促進（書き言葉を中心に）							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
6	言葉を通した自己表現							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
7	言葉を通した他者理解							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
8	幼小接続							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
9	言葉遊びに関する指導案の作成							指導案の作成			
10	言葉遊びに関する模擬保育の実施と振り返り							模擬保育の計画			
11	紙芝居に関する指導案の作成							指導案の作成			
12	紙芝居に関する模擬保育の実施と振り返り							模擬保育の計画			
13	絵本に関する指導案の作成							指導案の作成			
14	絵本に関する模擬保育の実施と振り返り							模擬保育の計画			
15	最近の保育現場の動向 授業全体の振り返りとまとめ							全体の振り返り			
テキスト	なし。随時プリント配布等をする。										
参考書・資料等	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）										
評価方法	定期試験(60%)、レポート(40%)で評価する。										
履修上の注意等											

科目番号	2210	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	佐々木典彰		
科目名	幼児理解と援助										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標          幼児のさまざまな姿に対して、心理学的知見を活かしながらその要因を捉え、保育者としての望ましい対応例を具体的に考えることができる。</p> <p>テーマ          子どもの事例研究</p>										
授業の概要	保育現場でよくみられる幼児のさまざまな事例を教材として、幼児の心理的特徴を学ぶ。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	「幼児理解と援助」とは							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
2	幼児理解に関する心理学的な理論・概念							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
3	保育者に求められる基礎的な態度							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
4	幼児の観察・記録法							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
5	集団を乱す子に関する事例							事例について考える。			
6	集団に入れない・入らない子に関する事例							事例について考える。			
7	行事や活動を嫌がる子に関する事例							事例について考える。			
8	子ども同士のけんかに関する事例							事例について考える。			
9	保護者に関する事例							事例について考える。			
10	年度初めの気になる子に関する事例							事例について考える。			
11	言葉の少ない子に関する事例							事例について考える。			
12	発達障害児に関する事例 1 自閉症児							事例について考える。			
13	発達障害児に関する事例 2 LD児、ADHD児							事例について考える。			
14	性差や生死に関する事例							事例について考える。			
15	振り返りとまとめ							各事例のポイントを振り返る。			
テキスト	なし。随時プリント配布等をする。										
参考書・資料等	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示） 「心の保育を考える case 67」ラボム編集部 編、学研										
評価方法	小テスト(42%)、レポート(58%)により評価する。										
履修上の注意等											

科目番号	2211	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年前期	担当	佐々木典彰		
科目名	教育相談と支援										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 教育相談およびカウンセリングマインドに関する基礎的知識を修得し、それをふまえた子ども等への具体的な関わり方を考えることができる。</p> <p>テーマ 子ども、保護者への個別対応</p>										
授業の概要	人間とはもともとどのような存在で、どのような欲求を持っているかについての心理学的知見をおさえながら、良好な人間関係や環境への適応のための要点を学ぶ。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	「教育相談」とは							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
2	教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
3	子どもの心理的現状							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
4	カウンセリングマインドの必要性							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
5	カウンセリングマインドの姿勢							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
6	カウンセリングマインドの技法							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
7	問題解決的教育相談の進め方							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
8	予防的教育相談の進め方							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
9	開発的教育相談の進め方							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
10	問題行動の捉え方 虐待を例にして							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
11	問題行動の捉え方 非行を例にして							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
12	問題行動の捉え方 学級崩壊を例にして							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
13	保育施設における保護者支援							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
14	保育者・保育施設と地域との連携							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
15	振り返りとまとめ							図書館やインターネット等で関連することを調べる。			
テキスト	なし。随時プリント配布等をする。										
参考書・資料等	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）「子ども理解とカウンセリングマインド 保育臨床の視点から」青木久子 他 著、萌文書林										
評価方法	小テスト(42%)、レポート(58%)により評価する。										
履修上の注意等											

科目番号	2212	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	島内智秋	
科目名	保育内容指導法		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス ト 食育インストラクター	実務経験
課程	卒業必修		保育士	○	幼稚園教諭	○	ベビーシッター	○		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の全体構造の理解に基づいて「養護」と「教育」を総合的に捉える。</li> <li>・実習の経験をもとに話し合い、子ども理解や保育の計画や方法について理解する。</li> </ul> <p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育全体の構造を学び、バランスのとれた保育内容が子どもの健やかな成長に繋がることを理解し、子どものためのよりよい指導方法を考える。</li> </ul>									
授業の概要	幼稚園教育要領・保育所保育指針の保育内容をよく理解し、子どもの主体性を育む保育と保育者の関わりの関係性を学ぶ。									
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）		
1	オリエンテーション 幼稚園・保育所・認定こども園の教育・保育の基本 保育内容と保育方法を理解する							1章を事前に一読してこること		
2	見える援助と見えない援助・保育における観察と記録 指導方法と教育効果の関連性 乳幼児期の発達と幼稚園教育・保育の方法的特質							講義後、レポートを提出すること		
3	教育・保育の基盤となる子ども理解 発達の違いに合わせた指導方法と援助方法							2章を事前に一読してこること		
4	幼児期のふさわしい生活の展開 主体性を育む保育について 領域「健康」について							6章を事前に一読してこること		
5	環境を通しての教育 環境を通しての学び 領域「環境」について							3章を事前に一読してこること		
6	環境を通しての教育 環境構成の実際 遊びの展開に応じた環境の再構成							講義後、レポートを提出すること		
7	遊びを通しての指導 乳幼児期の発達と遊び 領域「人間関係」について[5歳児のヒミツ]DVD							4章を事前に一読してこること		
8	遊びを通しての指導 乳幼児期の遊びの生成と展開 領域「言葉」について							講義後、レポートを提出すること		
9	遊びを通しての指導 乳幼児期の遊びに対する援助 領域「表現」について							講義後、レポートを提出すること		
10	保育における個と集団の関係							5章を事前に一読してこること		
11	発達の時期に応じた指導・援助のあり方							7章・8章を一読しておくこと		
12	保育の計画の実際（教育課程・長期計画・短期計画）							9章を一読しておくこと 指導案を提出する		
13	行事を生かした保育の展開							講義後、レポートを提出すること		
14	乳幼児教育・保育における家庭・地域連携のあり方 お便り帳の書き方							10章・11章を一読しておくこと		
15	保育実践を高める省察・カンファレンス 配慮を要する子どもへの保育内容							12章を一読しておくこと		
テキスト	「保育方法・指導法」大豆生田啓友・渡辺英則・森上志朗 編 ミネルヴァ書房 「幼稚園教育要領解説書」文部科学省（言葉（1）で使用したもの） 「保育所保育指針」厚生労働省（保育原理（1）で使用したもの） 「幼児教育指導法 - 保育における援助の方法 - 」阿部明子・中田カヨ子編著 「保育のプロセスの質」評価スケール イラム・シラージ+デニス・キングストン+エドワード・メルウイッシュ 著 明石書店 ほか									
参考書・資料等										
評価方法	テスト（60%）、指導案・レポート（40%）の総合評価 試験は定期試験期間内に実施する									
履修上の注意等	子どもにとって、より良い具体的な指導方法を考え、現場での実践へ備えること。									

科目番号	2215	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年前期	担当	富士純子
科目名	国語科概論								
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト 実務経験
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 一般社会における正しい言語表現のあり方を理解し、保育者としての確で簡明な表現能力を見につける。</p> <p>テーマ 「言語を用いた伝達」 書くこと・話すこと の実践的表現能力を高める。</p>								
授業の概要	<p>日常的で使用される実務的実用的な言語の表現をベースとし、国語の基礎知識の確認と応用力を養うための実践的問題演習を行う。</p>								
回	授 業 計 画						自主学習（授業前・授業後）		
1	受講受理(授業計画) 国語の定義、保育者と表現力、概論の授業方法と計画・内容について解説する。								
2	保育者としての国語表現(1) ~表現における心構え~ 保育現場における、話すこと・聞くこと・書くこと・読むことの実践を学ぶ。								
3	保育者としての国語表現(2) ~あいさつ・敬語~ 保育者として身につける基本的な生活習慣と言葉について確認する。						テキスト巻末の演習問題、配付プリント等で復習をする。		
4	保育者としての国語表現(3) ~保育者・子ども・保護者~ 対人、状況に応じた適切な表現のあり方について考える。						"		
5	保育者としての国語表現(4) ~正しい表記の仕方~ 誤字脱字のない簡明な文章表現のための正しい表記を身につける。						"		
6	国語の基礎知識(1)						"		
7	国語の基礎知識(2) 表記のきまり。(現代仮名遣い、送り仮名、漢字と仮名の使い分け、数字の表記、読点の打ち方、記号類の使い方、原稿用紙の使い方。)についての演習。						"		
8	国語の基礎知識(3) 書き方の工夫。(文字、漢字、話言葉と書き言葉、略語と外来語、語句の重複、文末表現、常体と敬体、接続助詞、文の長さ。)についての学ぶ。						"		
9	国語の基礎知識(4) 書き方の工夫。(文字、漢字、話言葉と書き言葉、略語と外来語、語句の重複、文末表現、常体と敬体、接続助詞、文の長さ。)についての演習。						"		
10	国語の基礎知識(5) 話すこと聞くこと。(話し方の工夫・ポイント、聞くときの心構え・ポイント)の確認。						"		
11	保育者としての文章表現(1) 書く目的に応じた文の構成を学び、簡潔な文章の書き方、上達するための方法を身につける。						"		
12	保育者としての文章表現(2) 主語と述語、段落、修飾語、接続語、句読点、文末表現などの正しい使い方の確認をする。						"		
13	保育者としての文章表現(3) 履歴書・実習礼状などの手紙の書き方を演習する						履歴書・実習礼状などを実際に書いて練習し、提出をする。		
14	保育者としての文章表現(4) 保育日誌・連絡帳・園便りなどの書き方を学ぶ。								
15	小論文の書き方を学び、テーマを決めて演習する。						小論文形式で「最近の感動体験」について書き、提出する。		
テキスト	『保育者になるための国語表現』萌文書林								
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。								
評価方法	学習意欲(20%)、レポート(30%)、筆記試験(50%)等で総合的に判断する。								
履修上の注意等	事前に指示された事項はきちんと調べて受講すること。提出物は日程厳守のこと。								



科目番号	2216	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年前期	担当	長尾明義
科目名	生活科概論		栄養士		医療		ビジネス		実務経験
課程	卒業必修	保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		フードコーディネーター 食育インストラクター	
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼児教育と小学校教育の接続の核となる生活科を理解するために、生活科の目標や九つの内容、内容の取り扱いや指導計画作成上の配慮事項などについて、テキストや関係資料を通して理解すると共に、製作や表現活動を通して実感的に理解できる。</p> <p>テーマ 低学年の教科である生活科の全体像を理解し、幼児教育に生かそう。</p>								
授業の概要	<p>小学校学習指導要領解説「生活編」や現行児童用教科書をもとに生活科の目標や内容について学習する。製作単元と成長単元では、実際に「おもちゃ」や「自分アルバム」の製作を取り入れ、実感を通じた生活科の理解を図る。また、幼児教育と小学校教育との円滑な接続の核となる生活科の役割や幼児教育における「芽生え」の大切さを取り上げる。</p>								
回	授 業 計 画						自主学習（授業前・授業後）		
1	生活科の全体像をイメージ化(生活科を樹木に喩えた「生活科の木」の作成)。新学習指導要領・生活科の目標と役割(幼児教育との接続・スタートカリキュラムの充実など)。						幼児期の終わりまでに育てたい姿10項目を指摘できる。		
2	生活科の目標について。具体的な活動や体験とは、生活上必要な習慣や技能とは、究極の目標である三つの自立とは等について学ぶ。ワークシートに記入。						「自立」の意味を調べておく。		
3	目標が目指す三つの資質・能力(三本柱)について。学年目標について。						なぜ生活科の資質・能力には「基礎」がつくのか。		
4	生活科の内容について(生活科の内容構成・具体的な視点・学習対象)						学習したことを「生活科の木」に記入する。		
5	遊びを通じた総合的な学びから自覚的な学びへ。						遊びの意義とは。		
6	生活科の内容(1)学校と生活について。その、ねらいと配慮事項について学ぶ。特に、スタートカリキュラムを重視している現行教科書を紹介し円滑な接続について考える。						生活科の内容(1)学校と生活について。その、ねらいと配慮事項について学ぶ。特に、スタートカリキュラムを重視している現行教科書を紹介し円滑な接続について考える。		
7	生活科の内容(2)家庭と生活(3)地域と生活。その、ねらいと配慮事項について学ぶ。						家庭生活を扱う場合の留意事項を復習。		
8	生活科の内容(4)公共物・公共施設の利用(5)季節の変化と生活。そのねらいと配慮事項について学ぶ。小学校時代の学校から自宅までのマップに自然を想起し記述。						小学校時代の体験を想起しておく。		
9	生活科の内容(6)自然や物を使った遊び。ねらいと次時の製作について。						製作に使用する材料の準備。		
10	内容(6)に関連した小単元「おもちゃをつくってあそぼう」の製作。空き缶アーチェリーの製作。この単元における幼児との交流について紹介。						グループで遊び方の工夫。		
11	内容(7)動植物の飼育栽培(8)生活や出来事の交流。そのねらいと配慮事項について。						小学校時代の飼育・栽培を想起。		
12	内容(9)自分の成長。ねらいと配慮事項。小単元「大きくなったよ」に関連した、自分アルバムの製作について。教科書の例を提示。						家族ヘインタビュー。資料の収集。		
13	自分アルバム(20年を振り返る)の製作。自分の成長を振り返る。支えてくれた人々への感謝の気持ちとこれからもよりよく生きよう自分。						材料・用具の準備。形式に決定。		
14	自分アルバムの完成。自分の成長を振り返る。友達のよさを認め合う。						家族にもアルバムを見せる。感謝を。		
15	自分アルバムの完成。自分の成長を振り返る。友達のよさを認め合う。						子どものよさを伸ばし円滑な接続へ。		
テキスト	「小学校学習指導要領解説 生活編」(著作権所有 文部科学省 発行者 東洋館出版)								
参考書・資料等	児童用教科書に掲載されている単元や学習活動を適宜紹介する。								
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、主体的な受講態度(10%) 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	「自分アルバム」の製作で、幼少期～成人までを振り返る手がかりとして写真を使用するので、写真を選んだりコピーしておく。								

科目番号	2217	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	田中 恵		
科目名	健康の指導法										
	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士	○	幼稚園教諭	○	ベビーシッター	○	食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 心身の健康に関する領域であることを踏まえ、乳幼児の発達に即した援助方法や安全指導のあり方を考慮しながら保育者に必要な知識や技術を身に付ける。</p> <p>テーマ 乳幼児の心身の発達に即した運動遊びの指導内容や健康な生活習慣を身に付けるための援助、安全指導のあり方を理解する。</p>										
授業の概要	<p>領域「健康」での学習を基に、運動に関する指導、健康な生活に関する指導、安全な生活や態度に関する指導など保育現場での状況と照らし合わせて内容を深め、適切な指導法を学習する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	領域「健康」での学習を振り返りながら、「健康の指導法」の講義内容を把握する。							講義内容をノートにまとめる。			
2	基本的な生活習慣の形成と過程（食事）実習体験を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。							学外実習での体験を振り返り、グループ発表に備えて内容をまとめる。			
3	基本的な生活習慣の形成と過程（排泄・午睡）実習体験を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。							学外実習での体験を振り返り、グループ発表に備えて内容をまとめる。			
4	基本的な生活習慣の形成と過程（衣服の着脱・清潔に関すること）実習体験を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。							学外実習での体験を振り返り、グループ発表に備えて内容をまとめる。			
5	運動遊びの指導法 幼児期の運動能力を踏まえた指導計画の立案方法を理解する。							講義内容をノートにまとめる。			
6	運動遊びの指導法 運動遊びについての指導案を作成し、指導方法を考える。							活動内容を考える。			
7	3歳児の運動遊びを想定した模擬保育を行い、タブレット端末で行動を動画撮影する。							模擬保育の準備をする。			
8	4歳児の運動遊びを想定した模擬保育を行い、タブレット端末で行動を動画撮影する。							模擬保育の準備をする。			
9	5歳児の運動遊びを想定した模擬保育を行い、タブレット端末で行動を動画撮影する。							模擬保育の準備をする。			
10	7回から9回で撮影した動画を基に、VRやAR教材とスマートフォン・タブレット端末を活用し、日常の運動遊びにおける事故や安全に対する問題点や危険な場所、行為について子どもに理解させることができるようにする。							改善点等をまとめる。			
11	10回で認識した問題点をどのように改善するかグループごとに提案する。							講義内容をノートにまとめる。			
12	園庭（園外）での遊び・室内での遊びの特質と援助の要点について理解する。							講義内容をノートにまとめる。			
13	乳幼児期の安全能力の発達を理解しながら、乳幼児に多い不慮の事故等を例に挙げ、安全指導について学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。			
14	乳幼児の健康指導における保育者の役割を認識する。							講義内容をノートにまとめる。			
15	領域「健康」のねらい・内容・内容の取扱いに触れながら、これまでの講義内容を振り返る。							ノートの内容を整理する。			
テキスト	なし										
参考書・資料等	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、毎講義時に資料を配付する。（次回使用する資料を事前に配付して講義内容を予告する。）										
評価方法	試験（50％）グループ活動（40％）レポート課題（10％） 試験は定期試験期間内に実施する。										
履修上の注意等	日頃から、子どもに関するニュース・新聞記事に関心をもつこと。										

科目番号	2218	単位	1	授業形態	演習	開講時期	前期	担当	小林由美子		
科目名	表現の指導法										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士	○	幼稚園教諭	○	ベビシッター	○	食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「表現」のねらい及び内容を理解する。 テーマ 乳幼児各年齢が自主的に行動する場を学びながら、いろいろな場面で保育者としてどのように接したら乳幼児一人一人が「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に近づくことができるかを考察する。</p>										
授業の概要	乳幼児の自主性を重んじながら乳幼児の表現を引き出す方法を理解し、積極的な保育活動ができる指導法を学ぶ。又、自分自身も積極的に表現できるようになるよう、表現する場を短時間からだんだん長くし、模擬保育につなげて行く。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	乳幼児教育の領域表現の基本及びねらいを理解する。（ガイダンス）							復習しておくこと			
2	乳幼児の発達や学びの過程を理解し、表現活動においてはくみたい資質能力について具体的な場面を想定して考える。							復習しておくこと			
3	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を理解し、乳幼児の表現における内容を理解する。							復習しておくこと			
4	事例から幼児の心情・認識・動き等を考察し、幼児が経験し身につけていく表現の内容と指導上の留意点を理解する。							復習しておくこと			
5	幼児期の表現活動と、小学校の音楽教科との学びの関連性及び連続性について理解する。							復習しておくこと			
6	インクルーシブ保育における表現活動について理解し、歌を通して具体的な場面を想定し考える。							復習しておくこと			
7	表現活動及び指導法に関する論文を用いて、具体的な事例などについて考察する。							復習しておくこと			
8	表現の引き出し方を理解し、具体的な場面を想定し考える。							復習しておくこと			
9	表現活動や遊びを広げるために、簡易的な楽器を用いた方法を学ぶ。							復習しておくこと			
10	表現活動における情報機器及び教材の活用法について事例を通して体験することで保育構想に活用するアイデアを考える。							復習しておくこと			
11	指導案作成の構造を理解し、音楽的なねらいについて考え教材研究を行う。							復習しておくこと			
12	指導案作成についてグループで音楽的教材研究を行う。							復習しておくこと			
13	3歳児から5歳児末の音楽表現の指導案を作成する。							復習しておくこと			
14	13回目で作成した指導案について模擬保育を行い、改善点について考える。							復習しておくこと			
15	これまで学んだ表現教育や表現活動について、レポートを作成し、学生自身が学んだ内容を可視化する。							復習しておくこと			
テキスト	平成30年度施行 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領										
参考書・資料等	事例で学ぶ保育内容表現（萌文書林） 保育内容表現（光生館） 表現の指導法（玉川大学出版部）										
評価方法	授業中の活動内容50%、レポート40%、授業態度10%										
履修上の注意等											

科目番号	2219	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	佐藤 ゆかり		
科目名	教育方法・技術										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育方法、教育技術、情報機器及び教材の活用に関する基本的な知識・技能を身に付ける。</p> <p>テーマ 学習者を意識した教育方法の工夫～メディアを利用した授業（教育活動）</p>										
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様式、歴史とともに変貌する学校教育の実情を理解する。</li> <li>・教授活動を一つのモデルとして捉え、授業のデザイン・評価について理解する。</li> <li>・子どもが意欲的に参加する授業にメディアが果たす役割を学ぶ。</li> <li>・具体的にパーソナルコンピュータを利用してスライド教材を作成し、学習を適切かつ効果的に成立させる方法を演習する。</li> </ul>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	オリエンテーション 教育方法の歩みについて							課題が出た場合は必ず定められた日までに提出する。			
2	教授・学習理論について										
3	教育課程と教育評価について										
4	幼児教育の方法を支える専門性について										
5	幼児理解と保護者の役割について										
6	保育の計画と環境構成について										
7	幼児の遊びについて - 協同的な経験と学び										
8	保育における記録について										
9	省察とカンファレンスについて										
10	子どもとメディアについて										
11	子どもの学びとICT(1) - 情報機器の種類と利用										
12	子どもの学びとICT(2) - 視聴覚教材の活用法										
13	ICTを活用した事例(1) - 画像ソフトを利用した観察教材の製作										
14	ICTを活用した事例(2) - プレゼンテーションソフトを利用したお話の製作										
15	教師の身体とことばについて										
テキスト	授業内容に応じて適宜資料を配布										
参考書・資料等	講義中に案内する。										
評価方法	定期試験50%、授業の課題の提出内容50%により評価する。										
履修上の注意等	目的意識を持って授業に臨んでください。特に欠席した際には次の授業前に欠席時の内容を補完しておくこと。										

科目番号	2220	単位	2	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	江苺川 淳子
科目名	教職実践演習(幼)		栄養士		医療		ビジネス		実務経験
課程	卒業必修	保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		フードサイエンス ト 食育インストラクター	
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 保育者の職務についての基本的な事項を理解した上で、保育に対する使命感や情熱を持ち、保育者としての資質能力を高めようとする。</p> <p>テーマ 将来保育者になる上での自分の課題を自覚し、不足している知識や技術等を補い、保育職生活を円滑にスタートさせるための準備をする。</p>								
授業の概要	<p>保育者として求められる 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 社会性や対人関係能力に関する事項 幼児理解や学級経営等に関する事項 保育内容等の指導力に関する事項等に関して、グループ討議、ロールプレイング、模擬保育等を行いながら教員としての実践力を高めていく。</p>								
回	授 業 計 画						自主学習(授業前・授業後)		
1	保育職論 これまでの講義や教育実習・保育実習・施設実習を振り返りながら、保育者としての使命感や責任感、教育的愛情の重要性について深める。						授業後に実習についてのグループ反省の資料を作成する		
2	保育職論 前回の実習の振り返りから、子ども理解、保育者の役割を理解する。						授業後、実習の反省資料を基にグループ内で発表の練習する		
3	保育職論 2年生から1年生へ教育実習体験を伝える中で、子ども理解、教員の役割、保育内容について理解を深める。						事前に実習について1年生に伝えることを整理しておく		
4	保育指導 これまでの講義や実習を振り返りながら、指導計画(年間指導計画・月案・週案・日案)の意味と作成上の留意点を確認し、グループごとに指導案を作成する。						事前に指導案、教材作成に必要な材料を準備しておく		
5	保育指導 グループごとに指導案を作成、教材研究を行い指導の展開を工夫する。						授業前後、グループごとに模擬保育の準備をする		
6	保育指導 グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い(3歳児対象)、保育内容の研究を深める。						授業後、模擬保育から学んだことのレポートを提出する		
7	保育指導 グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い(4歳児対象)、保育内容の研究を深める。						授業後、模擬保育から学んだことのレポートを提出する		
8	保育指導 グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い(5歳児対象)、保育内容の研究を深める。						授業後、模擬保育から学んだことのレポートを提出する		
9	保育運営 園務運営、教職員間の連携・協働の重要性について理解を深める。						授業後、復習を行い理解を深める		
10	保育運営 学級経営、学級環境づくり、子どもへの対応について理解し、学級経営案を作成する。 ゲストスピーカー						授業後、復習を行い理解を深める		
11	保育運営 家庭との連携、保護者への対応について理解を深める。						授業後、復習を行い理解を深める		
12	現代の教育課題 特別な支援を要する子どもへの対応について理解を深める。ゲストスピーカー						授業後、復習を行い理解を深める		
13	現代の教育課題 今日的な教育課題(主に学校、家庭、地域社会との連携等)に関して、事例検討やロールプレイングを通して、個々の子どもの特性や子ども理解を深める。						授業後、事例検討したことについてのレポートを提出する		
14	現代の教育課題 今日的な教育課題(主に子ども理解等)に関して、事例検討やロールプレイングを通して、個々の子どもの特性や子ども理解を深める。						授業後、事例検討したことについてのレポートを提出する		
15	保育職論 これまでの講義を踏まえて、今日保育者に求められている資質能力、保育者の役割等から、目指す保育者像について確立する。						授業後、これまでの講義を踏まえて小論文を提出する		
テキスト	使用しない。								
参考書・資料等	「全社協ブックレット ～平成29年3月31日告示～保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領」全国保育士会 編 全国社会福祉協議会 「幼児理解に基づいた評価」文部科学省								
評価方法	講義中のグループ活動(10%)、レポート課題(10%)、指導案(20%)、模擬授業(20%)、小論文(40%)総合評価で行う。								
履修上の注意等	2年間の総まとめであることを自覚し、保育者としての円滑なスタートができるように、向上心をもって臨むこと。								

科目番号	2221	単位	4	授業形態	実習	開講時期	集中	担当	教職課程委員会	
科目名	教育実習									
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験
			保育士		幼稚園 教諭	○	ベビー シッター		食育インス トラクター	
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 学内で学んだ専門知識や技能を現場において総合的に実践し、子どもとのふれあいを通して教師の職務を体験し、応用力を身に付ける。</p> <p>テーマ 幼児教育の内容や幼稚園の機能、教師の役割を具体的に学ぶ。</p>									
授業の概要	1年次6月の柴田幼稚園における2日間観察実習から学習の動機をつかみ、1年間の専門知識・保育技術の習得を経て本実習として実地におもむき、幼児教育の内容や幼稚園の機能、教師の役割を具体的に学ぶ。									
回	授 業 計 画									
	自主学習（授業前・授業後）									
1	【1年次】									
2	柴田幼稚園2日間観察実習									
3	○実習期間：令和元年6月3日～6月4日(A班) 6月6日～7日(B班)									
4	【2年次】									
5	教育実習									
6	○実習期間：令和2年9月3日～9月28日									
7	○実習施設：履修者の希望を基に実習先を決定する。									
8	○実習形態： 観察実習 参加実習 指導実習									
9	観察実習 子どもの保育の基礎的、全般的な状況の把握									
10	参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加									
11	指導実習 実習生の指導計画と準備に基づく主体的な保育活動の実践									
12	○実習内容 観察実習・参加実習・指導実習(部分・全日)の段階目標に従って学ぶ。									
13										
14										
15										
テキスト	「幼稚園・保育所実習の手引き」 東北女子短期大学 教職課程委員会・保育士課程委員会編									
参考書・資料等	幼稚園教育要領、必要に応じて資料を配付する。									
評価方法	実習先の評価(60%) 実習日誌の内容評価(40%)									
履修上の注意等	実習の意義・目的・内容を十分理解したうえで、事前準備をしっかりと整えて実習に臨むこと。									

科目番号	2222	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年 通年	担当	島内智秋・佐々木典彰		
科目名	教育実習事前事後指導								フードサイ エンティス ト	実務経験	
課程	卒業必修		栄養士 保育士		医療 幼稚園 教諭		ビジネス ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	到達目標 実りある教育実習のために必要な知識・技能を修得する。 また、実習後に振り返りを行い、自分の課題を明確にする。 テーマ 教育実習の準備と振り返り										
授業の概要	前半10回は事前指導として、実習日誌を中心にして実習に必要な知識や技能を修得する。 後半5回は事後指導として、実習日誌を中心にして実習の自己評価および振り返りを行う。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	【事前指導】 教育実習とは							参考書等で関連することを調べる。			
2	【事前指導】 幼稚園とは							参考書等で関連することを調べる。			
3	【事前指導】 実習日誌の書き方について（実習施設の概要、言葉遣い等の基本事項）							参考書等で関連することを調べる。			
4	【事前指導】 実習日誌における実習目標を中心にして実習に必要な知識や技能を修得する							参考書等で関連することを調べ、 例を書いてみる。			
5	【事前指導】 実習日誌における実習目標を中心にして実習に必要な知識や技能を修得する							参考書等で関連することを調べ、 例を書いてみる。			
6	【事前指導】 実習日誌における記録・感想を中心にして実習に必要な知識や技能を修得する							参考書等で関連することを調べ、 例を書いてみる。			
7	【事前指導】 実習日誌における記録・感想を中心にして実習に必要な知識や技能を修得する							参考書等で関連することを調べ、 例を書いてみる。			
8	【事前指導】 実習日誌における反省を中心にして実習に必要な知識や技能を修得する							参考書等で関連することを調べ、 例を書いてみる。			
9	【事前指導】 実習日誌における反省を中心にして実習に必要な知識や技能を修得する							参考書等で関連することを調べ、 例を書いてみる。			
10	【事前指導】 指導案を中心にして実習に必要な知識や技能を修得する。							参考書等で関連することを調べ、 例を書いてみる。			
11											
12											
13											
14											
15											
テキスト	なし。随時プリント配布等をする。										
参考書・資料等	幼稚園教育要領 平成29年告示 文部科学省										
評価方法	レポートにより評価する。										
履修上の注意等											

科目番号	2222	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年 通年	担当	島内智秋・佐々木典彰		
科目名	教育実習事前事後指導										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	到達目標 実りある教育実習のために必要な知識・技能を修得する。 また、実習後に振り返りを行い、自分の課題を明確にする。 テーマ 教育実習の準備と振り返り										
授業の概要	前半10回は事前指導として、実習日誌を中心にして実習に必要な知識や技能を修得する。 後半5回は事後指導として、実習日誌を中心にして実習の自己評価および振り返りを行う。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	【事後指導】 実習の振り返り							自分の課題を洗い出す。			
2	【事後指導】 実習の振り返り							自分の課題を洗い出す。			
3	【事後指導】 報告会（2年）							報告する内容を準備する。			
4	【事後指導】 報告会（1・2年合同）							報告する内容を準備する。			
5	【事後指導】 振り返りとまとめ							今後の課題を内面化する。			
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
テキスト	なし。随時プリント配布等をする。										
参考書・資料等	幼稚園教育要領 平成29年告示 文部科学省										
評価方法	レポートにより評価する。										
履修上の注意等											



科目番号	2229	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	安田 智子		
科目名	子どもの食と栄養										
課程	卒業必修	○	栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士	○	幼稚園教諭		ベビシッター	○	食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標</p> <p>子どもの発育・発達と健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養について学び、食事の重要性を理解す テーマ</p> <p>保育現場では子どもの心身の状態や発達過程を踏まえながら、子どもの食にかかわっていくため、正しい栄養知識をつけるとともに、各自の食生活の見直しを行い、適切な食生活を営む実践力を培う。</p>										
授業の概要	<p>食事と栄養に関する基本的知識と小児期の栄養の特徴、食生活の果たす役割を学ぶ。また、調理実習を取り入れ、基本的な調理と発達段階に応じた食事づくりを行う。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	ガイダンス 【演習】 学生自身の食生活の見直しを行う。（体組成計・食事バランスガイド）							自分の体組成を知り、食生活の実態について記録する。			
2	第1章 子どもの健康と食生活							第1章を読んでくる			
3	第2章 栄養・食に関する基本的知識		1～5					第2章 1～5を読んでくる			
4	第2章 栄養・食に関する基本的知識		6～9					第2章6～9を読んでくる			
5	第2章 栄養・食に関する基本的知識		10～12					第2章 10～12を読んでくる			
6	第3章 子どもの発育・発達と栄養・食生活		1～4					第3章 1～4を読んでくる			
7	第3章 子どもの発育・発達と栄養・食生活		5～7					第3章 5～7を読んでくる			
8	第3章 子どもの発育・発達と栄養・食生活 調理室の使用注意事項・食中毒予防対策 【調理実習】 調乳方法(人工ミルクの種類と調乳の仕方・冷凍母乳の解凍の仕方)							調乳方法・種類・調乳に際しての注意事項、冷凍母乳の解凍の仕方についてレポート提出			
9	第3章 子どもの発育・発達と栄養・食生活 【調理実習】 離乳食づくり・ベビーフードとの比較							手作り離乳食づくりの方法、各ステージの特徴他レポート提出			
10	第3章 子どもの発育・発達と栄養・食生活 【調理実習】 離乳食づくり・ベビーフードとの比較										
11	第3章 子どもの発育・発達と栄養・食生活 【調理実習】 幼児期の間食(アレルギー対応食)							幼児期の間食について、間食に要するエネルギー量及び必要栄養素等理解する。実習後にはレポート提出			
12	第3章 子どもの発育・発達と栄養・食生活 【調理実習】 幼児期の弁当							幼児期の手作り弁当について、弁当箱の容量、エネルギー量、作る上でのポイントを知る。実習後にはレポート提出			
13	第3章 子どもの発育・発達と栄養・食生活 【調理実習】 学童期の給食							学校給食について学ぶ。実習後にはレポート提出。			
14	第3章 子どもの発育・発達と栄養・食生活 【調理実習】 学童期の給食										
15	まとめ							試験範囲について、調理室の清掃			
テキスト	子どもの食と栄養（改訂第2版）：中山書店										
参考書・資料等	子どもの食と栄養：萌文書林、新版子どもの食生活：ななみ書房										
評価方法	筆記試験80%、ノート点・レポート点10%、実習グループ点10%として評価する。 試験は定期試験期間内に実施する										
履修上の注意等	調理実習時は白バレーシューズ、割烹着、三角巾、タオル、名札を持参し、 2階第二調理実習室で行う。										

科目番号	2229	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	安田 智子		
科目名	子どもの食と栄養										
課程	卒業必修	○	栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティスト	実務経験	
			保育士	○	幼稚園 教諭		ベビー シッター	○	食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題を知り、保育における食育の意義・目的を理解し、保育の現場で実践できる力をつける。</p> <p>テーマ 保育現場では子どもの心身の状態や発達過程を踏まえながら、子どもの食にかかわっていくため、正しい栄養知識をつけるとともに、各自の食生活の見直しを行い、適切な食生活を営む実践力を培う。</p>										
授業の概要	<p>食事と栄養に関する基本的な知識と小児期の栄養的特徴、食生活の果たす役割を学び、調理実習において発達段階に応じた食事作りをする。また、栄養食育媒体を用いた栄養教育実践を班ごとに行う。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	第4章 食育の基本と実践										
2	第4章 食育の基本と実践 【演習】栄養教育発表 媒体作成準備										
3	第4章 食育の基本と実践 【演習】栄養教育発表 練習										
4	第4章 食育の基本と実践 【演習】栄養教育発表本番							ロールプレイルームにて各班10分の発表を行い、各自評価を行う			
5	第4章 食育の基本と実践 5学校給食の現状										
6	第5章 児童福祉施設や家庭における食と栄養										
7	第6章 食の安全										
8	第7章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 1食物アレルギー 【演習】エビペンの使い方							アレルギー表示のあるお菓子屋加工品のパッケージを持ってくる。 エビペンの使用方法を習得する			
9	第7章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 2～9 【演習】ORSを作って飲んでみよう										
10	第7章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 10 【演習】障害児(摂食障害)への飲み込みやすい食事作りの工夫										
11	行事食を伝える 【調理実習】 クリスマス(ブッシュドノエル・チキンローフ・人参のポタージュ・紅茶)										
12	行事食を伝える 【調理実習】 クリスマス(ブッシュドノエル・チキンローフ・人参のポタージュ・紅茶)										
13	郷土料理を伝える 【調理実習】 津軽の郷土料理(ごまご飯・けの汁・しとぎ餅・人参の子和え・番茶)										
14	郷土料理を伝える 【調理実習】 津軽の郷土料理(ごまご飯・けの汁・しとぎ餅・人参の子和え・番茶)										
15	まとめ							かっぱう着・三角巾・シューズ・タオルを持参。第二調理室で行う。			
テキスト	子どもの食と栄養(改訂 第2版):中山書店										
参考書・資料等	子どもの食と栄養:萌文書林、新版子どもの食生活:ななみ書房										
評価方法	筆記試験80%、ノート点・レポート点10%、実習グループ点10%として評価する。 試験は敵試験期間内に実施する。										
履修上の注意等	調理実習時は白バレーシューズ、かっぱう着、三角巾、タオル、名札を持参し、2階第二調理実習室で行う。										

科目番号	2231	単位	2	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	田中 恵		
科目名	健康										
課程	卒業必修	○	栄養士 保育士		医療 幼稚園 教諭		ビジネス ベビー シッター		フードサイ エンティス ト 食育インス トラクター	実務経験	
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 領域「健康」のねらい・内容を理解しながら保育者としての役割を考え、子どもの発達に適した援助ができるよう知識や技術を身につける。</p> <p>テーマ 乳幼児の心身の発達に即した健康な身体づくりや生活習慣を身につけるための援助、安全指導のあり方について理解を深める。</p>										
授業の概要	<p>幼児期が生涯にわたる健康の基礎ができる重要な時期であることから、領域「健康」のねらい・内容・指導の基本を理解し、心身の健康に関する内容、運動的活動に関する内容、健康な生活習慣に関する内容を具体的に学習する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	領域「健康」の講義内容を把握する。『健康』について考える。							講義内容をノートにまとめる。			
2	乳幼児期の健康の特徴を知る。							講義内容をノートにまとめる。			
3	領域「健康」のねらい・内容・内容の取扱いを理解する。							講義内容をノートにまとめる。			
4	幼児期の運動技能や運動能力の発達を学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。			
5	乳幼児期の精神状態 知覚・認知の発達について学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。			
6	乳幼児期の精神状態 社会性・パーソナリティの発達について学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。			
7	乳幼児期の体力・運動能力を理解し、運動遊びと関連づけて考える。							講義内容をノートにまとめる。			
8	子どもの健康状態の把握や事故発生時の救急処置について理解を深める。							救急処置について振り返る。			
9	園外保育の意義や園外保育で育つ心身の健康について理解する。							講義内容をノートにまとめる。			
10	幼児期にふさわしい運動会のあり方を理解する。							講義内容をノートにまとめる。			
11	遊びの特質と援助の要点について理解する。							講義内容をノートにまとめる。			
12	基本的な生活習慣の形成と過程 食事について学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。			
13	基本的な生活習慣の形成と過程 午睡・排泄について学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。			
14	基本的な生活習慣の形成と過程 衣服の着脱・清潔に関することについて学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。			
15	これまでの講義内容を振り返る。							ノートの内容を整理する。			
テキスト	なし										
参考書・資料等	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、毎講義時に資料を配付する。（次回使用する資料を事前に配付して講義内容を予告する。）										
評価方法	試験（80％）レポート課題（20％） 試験は定期試験期間内に実施する。										
履修上の注意等	日頃から、子どもに関するニュース・新聞記事に関心をもつこと。										

科目番号	2233	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年前期	担当	安川由貴子		
科目名	子ども家庭支援論										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 子育て家庭に対する支援の意義・目的及び保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。また、子育て家庭に対する支援体制やニーズに応じた多様な支援の展開の現状と課題を理解する。</p> <p>テーマ 子ども家庭支援のために、保育者に求められる自覚と役割</p>										
授業の概要	<p>保育士は、保護者への子育ての問題や課題に対しての支援と、地域の子育て家庭への支援が必要とされている。授業では、子ども家庭支援の必要性を認識し、その意義や目的を学ぶ。また、保育の専門性を活かした家庭支援のあり方について学び、それを支える社会資源や施策等の子育て支援体制を踏まえ、具体的な支援方法について理解を深める。そして、これからの子ども家庭支援のあり方について考える。</p>										
回	授 業 計 画							自主学习（授業前・授業後）			
1	子ども家庭支援の意義と役割（1）子ども家庭支援の意義と必要性							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
2	子ども家庭支援の意義と役割（2）子ども家庭支援の目的と機能							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
3	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（1）保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
4	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（2）子どもの育ちの喜びの共有							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
5	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（3）保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
6	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（4）保育士に求められる基本的態度（受容的関わり・自己決定の尊重・秘密保持等）							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
7	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（5）家庭の状況に応じた支援							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
8	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（6）地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
9	子育て家庭に対する支援の体制（1）子育て家庭の福祉を図るための社会資源							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
10	子育て家庭に対する支援の体制（2）子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
11	多様な支援の展開と関係機関との連携（1）子ども家庭支援の内容と対象							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
12	多様な支援の展開と関係機関との連携（2）保育所等を利用する子どもの家庭への支援							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
13	多様な支援の展開と関係機関との連携（3）地域の子育て家庭への支援							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
14	多様な支援の展開と関係機関との連携（4）要保護児童等及びその家庭に対する支援							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
15	多様な支援の展開と関係機関との連携（5）子ども家庭支援に関する現状と課題							テーマに関して情報収集し、問題意識をもち考えてくること。授業後は、復習に努めること。			
テキスト	レジュメ・資料を配布する。厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館。										
参考書・資料等	授業中に適宜紹介する。										
評価方法	定期試験（50％）、課題の提出（20％）、授業内活動（30％） 試験は定期試験期間内に実施する。										
履修上の注意等	社会に広く目を向け、子ども家庭支援を身近なこととして捉えて受講すること。また、グループ討論の機会も適宜取り入れるので、積極的な参加を期待します。										

科目番号	2237	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	松宮ゆり
科目名	子どもの健康と安全	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス	
課程		保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		フードサイエンス ト 食育インストラクター	実務経験
到達目標及びテーマ	<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。</li> <li>・衛生管理、事故防止及び安全対策、危機管理、災害、感染対策について具体的に理解する。</li> </ul> <p>テーマ</p> <p>子どもたちの明るい未来を共有できるために。</p>								
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する。</li> <li>・子どもの健康及び安全の管理に関わる組織的な取り組みや保健活動の計画および評価等について、具体的に理解する。</li> </ul>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	第1章 ガイダンス・保健的観点を踏まえた保育環境や援助 子どもの健康と保育環境							シラバスに目を通す	
2	子どもの保健にかんする個別対応と集団全体の健康および安全の管理 健康状態の評価（体温、呼吸、脈拍、の測定と記録）							乳幼児に適した体温計には どのようなものがあるか調べる	
3	第2章 保育における健康及び安全の管理 衛生管理（吐物の処理の仕方）							ビニールゴミ袋を使って、使い 捨てエプロンの作り方を考える	
4	事故防止及び安全対策							子どもに多い事故は何か	
5	危機管理と災害への備え （チャイルドビジョンの作成・乳幼児期の視野体験）							チャイルドビジョン作成に必要なの カッター・はさみ・のりを準備	
6	第3章 子どもの体調不良などに対する適切な対応 体調不良や傷害が発生した場合の対応と応急処置 （便秘、骨折、脱臼、捻挫、熱傷、鼻出血の処置、薬投与の仕方）							体調の悪い子どもに飲ませたり 食べさせたりする場合何が良いか	
7	救急処置及び心肺蘇生法 （子どもの心肺蘇生法、AED・エピペンの使い方・救急車の呼び方）							本校に置かれているAEDの場所確認	
8	第4章 子どもがよくかかる感染症の対策 感染症の集団発生の予防							自分の予防接種歴を確認	
9	感染症発生時と罹患後の対応							感染症発生した子どもへの対応で 大切なことは何かを考える	
10	第5章 保育で必要な保健的対応 保育における保健的対応の基本的な考え方（歯磨きのポイント）							歯磨き指導に必要な歯ブラシ コップ、歯磨き、タオルを準備	
11	3歳未満児への対応 （沐浴の仕方）							おむつの当て方、衣服の着せ方を 確認する	
12	個別的な配慮を要する子どもへの対応 （アトピー性皮膚炎、気管支喘息、花粉症、アナフィラキシーの子どもへの対応）							慢性疾患をもつ子どもが、集団 生活する際の配慮することは何か	
13	障害をもつ子どもへの対応 （保健日より作成の計画）							医療的ケアの必要な子どもが、集 団生活する際の配慮事項は何か	
14	第6章 健康及び安全の管理の実施体制 保育における保健活動の計画および評価（保健日より作成）							年間保健計画の準備	
15	保健活動における職員間の連携・協働と関係機関との連携 （年間保健計画作成）							確認レポートの整理	
テキスト	「授業で現場で役立つ 子どもの健康と安全 演習ノート」編著 小林美由紀・診断と治療社								
参考書・資料等	「子どもの保健テキスト」編著 小林美由紀・適宜写真及び参考資料回覧								
評価方法	定期試験70% 演習活動20% 確認プリント10%による総合評価。試験は定期試験期間内に実施。								
履修上の注意等	演習時は運動着にエプロン（名札付き）を着用し、整髪で臨む。確認プリントで理解を深める。								

科目番号	2238	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	佐藤優輝			
科目名	社会的養護(2)											
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードワイ エンティス ト		実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		食育インス トラクター			
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 社会的養護の全体像について理解する。 施設養護、家庭養護の実際について理解する。 社会的養護におけるソーシャルワークについて理解する。 虐待対応・防止と家庭支援について理解する。</p> <p>テーマ 被害を受けた子どもたちの理解と具体的な関わり方 不適切な関わりの防止と自己覚知</p>											
授業の概要												
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）				
1	子どもの理解											
2	権利擁護 ～事例検討を通して											
3	治療的な支援とは ～事例検討を通して～											
4	自立支援(自立とは何か)											
5	社会的養護で求められる専門性と技術 アタッチメントとは ～事例検討を通して～											
6	社会的養護で求められる専門性と技術 発達障害 ～事例検討を通して～											
7	社会的養護で求められる専門性と技術 被虐待児 ～事例検討を通して～											
8	社会的養護で求められる専門性と技術 自立支援 ～事例検討を通して～											
9	社会的養護で求められる専門性と技術 アフターケア ～事例検討を通して～											
10	社会的養護で求められる専門性と技術 ソーシャルワーク ～事例検討を通して～											
11	社会的養護で求められる専門性と技術 地域との関わり ～事例検討を通して～											
12	社会的養護で求められる専門性と技術 里親・ファミリーホーム ～事例検討を通して～											
13	社会的養護で求められる専門性と技術 施設養護 ～事例検討を通して～											
14	社会的養護で求められる専門性と技術 自立支援計画、記録作成 ～事例検討を通して～											
15	社会的養護の展望											
テキスト	児童の福祉を支える <演習> 社会的養護II 吉田眞理 萌文書林											
参考書・資料等												
評価方法	受講姿勢50%、事例検討課題50%											
履修上の注意等	グループで話し合う機会が多いので積極的に参加してほしい。											

科目番号	2239	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	江莉川 淳子		
科目名	子育て支援										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 子育て支援の意義と原理、理念について理解する。 ・保護者における様々な相談において支援の方法及び技術を様々な事例を通して具体的に理解する。</p> <p>テーマ 保育者の専門性を生かした保護者への子育て支援について、子どもの最善の利益と保育者としての倫理を根本に、その意義と基本となる支援の原理について学ぶ。</p>										
授業の概要	保育士が行う子育て支援の特色を知り、保護者支援の実際からその対応の意義や内容・方法など基本をよく理解できるように、講義や演習課題の中から学びを深める。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	保育相談支援とは 保育相談支援の基本	1年目保育士になったA子さん（資料）					教科書を一読しておくこと				
2	保育相談支援の方法 保育者が行う保育相談支援の特徴						教科書を一読しておくこと				
3	保護者との関係づくり 保護者の養育力の向上を目指したかかわり						教科書を一読しておくこと				
4	保育相談支援の基本 信頼関係の形成・プライバシーの保護(資料)						教科書を一読しておくこと				
5	保育の環境構成を活かした支援 保育相談支援における保育環境構成の意義と課題						教科書を一読しておくこと				
6	地域の資源の活用と関係諸機関との連携						教科書を一読しておくこと				
7	地域子育て支援における保育相談支援の実際						教科書を一読しておくこと				
8	保護者の養育力向上を目指した支援の実際						教科書を一読しておくこと				
9	保護者同士の関係を改善するための支援の実際						教科書を一読しておくこと				
10	苦情対応から始まる支援の実際						教科書を一読しておくこと				
11	障害のある子どもをもつ保護者への支援の実際						教科書を一読しておくこと				
12	要保護児童の家庭に対する支援の実際						教科書を一読しておくこと				
13	乳児院における保育相談支援の実際						教科書を一読しておくこと				
14	母子生活支援施設における保育相談支援の実際						教科書を一読しておくこと				
15	保育者に求められる保育相談支援 1年目Aさんの保護者対応とその後（資料）						教科書を一読しておくこと				
テキスト	「実践・保育相談支援」青木紀久代編著 みらい										
参考書・資料等	「子育て支援」西村重稀、倉井夕貴＝編集 中央法規 「保育相談支援」大嶋恭二・金子恵美編著 建帛社 「演習 保育相談支援」小林育子著 萌文書林 「日常の保育を基盤とした子育て支援 - 子どもの最善の利益を守るために」長島和代他 萌文書林										
評価方法	定期試験(60%)・提出レポート(20%)・演習への取り組み状況(20%)の総合評価 試験は定期試験期間内に実施する										
履修上の注意等	保育者になったことをイメージして受講すること										

科目番号	2241	科目名	子どもと造形	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	岩井康頼
課程	卒業必修	栄養士		医療		ビジネス		フードリエンティスト		実務経験	
		保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター			
到達目標及びテーマ	<p>幼児・児童の「あそび」には子どもの感性やイメージする育成など、成長に不可欠な「学び」が含まれている。「あそびから造形」へと、幼児と共に感じ活動できる能力を涵養するための理解や支援に必要な基礎的知識を習得する。</p> <p>「あそびという日常から造形へ」をテーマとし、多様な表現の魅力を体験する。</p>										
授業の概要	<p>幼児の造形活動において環境を設定し素材・材料を整えどのように展開するのか、保育者が造形指導の鍵となり適切な支援が重視される。教材である「ドロあそび」等の視聴覚教材により造形活動について分析をする。</p>										
回											自主学习（授業前・授業後）
1	「造形活動」の意味と本質についての概要。あそびと表現の狙いと内容。										教材「ドロあそび」ムービー
2	「表現の多様性」と身体言語を使ったワークショップ										コミュニケーションは身体言語から
3	「かけ絵あそび」「ドロあそび」等、基本的で本質的「素材」への興味について										「あそび」と造形
4	身近な素材による教材研究	「モノプリント」「絵」が「版画」になる									絵と版画について
5	身近な素材による教材研究	「モノプリント」「世界に1点しかない版画を作る」									展示会（見せ方）を工夫する
6	美術鑑賞ACOP(Art Communication Project) 対話型鑑賞	「プリコラージュの視点」から									プリコラージュとは？
7	身近な素材による教材研究	「もし服飾デザイナーになったら」ファッションへの導入									ファッションショー・ユーチューブ
8	身近な素材による教材研究	「もし服飾デザイナーになったら」コンセプト・共同制作									「着る×包む×観せる」
9	身近な素材による教材研究	「もし服飾デザイナーになったら」舞台を意識しながら									舞台を想定する・朗読等
10	身近な素材による教材研究	「もし服飾デザイナーになったら」振り付け									ステージを歩く
11	身近な素材による教材研究	「もし服飾デザイナーになったら」音楽（GGM）の検討									照明
12	身近な素材による教材研究	「もし服飾デザイナーになったら」完成									映像を記録する
13	美術鑑賞（ACOP）（Art Communication Project）対話型鑑賞										生きる能力の育成
14	身近な素材による教材研究	時間調整日									プリコラージュの魅力
15	美術鑑賞（ACOP）対話型鑑賞 まとめ：レポート										見えないものを見る
テキスト	『どう見える？生きる跡 アート』岩井康頼監修、弘前大学出版会。										
参考書・資料等	厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館、文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館										
評価方法	提出物（40%）、授業内活動（30%）、レポート（30%）										
履修上の注意等	事前に参考資料に目を通し、必要な材料を準備しておくこと。衣服が汚れる場合もあります、トレーニングウェア、エプロン着用での受講可。										



科目番号	2242	単位	2	授業形態	実習	開講時期	集中	担当	保育士課程委員会	
科目名	保育実習(2)									
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験
			保育士	○	幼稚園 教諭		ベビー シッター	○	食育インス トラクター	
到達目標 及びテーマ	到達目標 保育実習(1)での体験を基に、授業で学んだ知識や技能を応用させながら 保育所の役割や機能 観察に基づく保育の理解 子どもの保育及び子育て支援と地域社会との連携 指導計画の作成・実践・観 察・記録及び評価 保育士の業務と職業倫理 自己の課題の明確化など実践を通して具体的に理解する。 テーマ 保育全般に参加しながら体験を通じて保育士の役割を学ぶ。									
授業の概要	保育現場において、授業で学んだ専門知識や技能を応用させながら総合的に実践し、子どもとのふれあいを 通じて保育士の職務を体験的に学習する。									
回	授 業 計 画									
	自主学習 ( 授業前・授業後 )									
1	○実習期間：令和2年8月17日～8月31日(13日間)									
2	○実習施設：履修者の希望を基に実習先を決定する。 保育実習(1) 保育所実習の実習園と同一園とする。									
3	○実習形態： 観察実習 参加実習 部分実習 全日実習									
4	観察実習 子どもの保育の基礎的、全般的な状況の把握									
5	参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加									
6	部分実習 一日の保育活動のうち、ある特定の活動に関する指導の実際									
7	全日実習 一日の保育活動すべてに関する総合的な指導の実践									
8	○実習内容									
9	1. 保育所の役割や機能の具体的展開									
10	(1) 養護と教育が一体となって行われる保育(2) 保育所の社会的役割と責任									
11	2. 観察に基づく保育の理解									
12	(1) 子どもの心身の状態や活動の観察(2) 保育士等の援助や関わり									
13	(3) 保育所の生活の流れや展開の把握									
14	3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携									
15	(1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育									
16	(2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する 子育て支援									
17	(3) 関係機関や地域社会との連携・協働									
18	4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価									
19	(1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解									
20	(2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価									
21	5. 保育士の業務と職業倫理									
22	(1) 多様な保育の展開と保育士の業務									
23	(2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理									
24	6. 自己の課題の明確化									
25	実習期間中に保育士課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生と面談を通して 指導・助言をする。									
テキスト	「幼稚園・保育所実習の手引き」 東北女子短期大学 教職課程委員会・保育士課程委員会編									
参考書・資料等	保育所保育指針、必要に応じて資料を配付する。									
評価方法	実習先からの評価(60%) 実習日誌の内容評価(40%)									
履修上の注意等	実習の意義・目的・内容を十分に理解したうえで、事前準備をしっかり整えて実習に臨むこと。									

科目番号	2243	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	田中 恵		
科目名	保育実習指導(2)										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士	○	幼稚園 教諭		ベビー シッター	○	食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 保育実習(1)での自己課題を明確にしたうえで、保育について総合的に学び保育者としての役割を理解する。</p> <p>テーマ 保育実習(1)の体験を振り返りながら、実習の意義と目的の理解を深化させ、さらには保育士理解・保育内容を総合的に学ぶ。</p>										
授業の概要	<p>保育実習(1)での体験を振り返りながら、自己の課題を明確にしたうえで、保育実践に向けて具体的な指導計画の作成や保育士の専門性と職業倫理について学習する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	実習の意義・目的・内容の理解 保育実習(1)の体験を振り返り、自らの課題を明確にする。							保育実習の振り返りをする。			
2	実習の意義・目的・内容の理解 保育実習(1)の体験を振り返り、自らの課題を明確にする。							保育実習の振り返りをする。			
3	子どもの最善の利益を考慮した保育について考える。							子どもの最善の利益を考える。			
4	保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。							保育士の職業倫理について考える。			
5	実習の形態（観察実習・参加実習・部分実習・全日実習）と意義・内容について具体的に学ぶ。							保育実習の振り返りをする。			
6	実習先に提出する必要書類の作成や事務手続きの方法を知る。							提出書類を作成する。			
7	実習記録の方法 記録の意義を理解し、記録のとり方について具体的に学ぶ。							保育実習(1)の日報を振り返る。			
8	実習記録の方法 記録の意義を理解し、記録のとり方について具体的に学ぶ。							保育実習(2)の目標を考える。			
9	指導計画作成の実際 指導案の必要性を理解し、活動のねらい・内容・配慮点などを中心に立案方法を学ぶ。							活動内容を考える。			
10	指導計画作成の実際 年齢に適した指導案を作成する。（部分実習の指導案作成）							指導案を作成する。			
11	指導計画作成の実際 年齢に適した指導案を作成する。（部分実習の指導案作成）							指導案を作成する。			
12	指導計画作成の実際 年齢に適した指導案を作成する。（全日実習の指導案作成）							指導案を作成する。			
13	指導計画作成の実際 指導案作成上の問題点について質疑応答をし、さらに理解を深める。							指導案を作成する。			
14	実習中の心構えを具体的に理解し、実習に対しての目的意識を高める。							講義内容をノートにまとめる。			
15	実習後には振り返りを行い、今後の課題を明確にする。（レポート作成について）							講義内容をノートにまとめる。			
テキスト	なし										
参考書・資料等	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、必要に応じて資料を配付する。										
評価方法	授業ノート(40%) レポート課題(60%) を総合して評価する。										
履修上の注意等	保育に関する専門科目の講義内容と関連させながら知識を深めること。										

科目番号	2246	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年後期	担当	江莉川 淳子	
科目名	在宅保育		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト 食育インストラクター	実務経験
課程	卒業必修		保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター			
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 わが国における乳幼児保育の変遷と家庭訪問保育の意義を理解し、家庭訪問保育者の果たす社会的役割を自覚する。</p> <p>テーマ 家庭訪問保育としての保育全体の構造を学び、バランスのとれた保育内容が子どもの健やかな成長に繋がることを理解し、子どものためのよりよい指導方法を考える。</p>									
授業の概要	履修済みである「乳児保育」・「子どもの保健」等を復習しながら、在宅保育に特化した専門性を学ぶ。									
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）		
1	オリエンテーション 家庭訪問保育とは P2～6 保育マインド P7～15 居宅訪問型保育の概要 P8～27 DVD「家庭訪問保育の実際」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
2	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識 乳幼児の生活と遊び P28～37 DVD「在宅保育に役立つ遊び“乳児編”」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
3	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識 乳幼児の発達と心理 P38～53 DVD「ベビーシッター保育技術マニュアル“乳児の発達”」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
4	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識 乳幼児の食事と栄養 P54～65 DVD「ベビーシッター保育技術マニュアル“乳幼児の食事”」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
5	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識 小児保健 P66～92 DVD「乳幼児を事故から守るため～“事故などの対処法”」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
6	居宅型訪問保育の実際 居宅訪問保育の保育内容 P93～105 DVD「家庭訪問保育ベビーシッター」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
7	居宅型訪問保育の実際 居宅訪問型保育の環境整備 P106～115 DVD「子どもを育む保育の環境」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
8	居宅型訪問保育の実際 居宅訪問型保育の運営と安全確保とリスクマネジメント P116～133 DVD「子どもの事故と予防のチェックポイント」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
9	居宅型訪問保育の実際 居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項 P134～144 職業倫理についてのカンファレンス 小テスト ベビーシッター資格について							教科書を一読しておくこと		
10	居宅型訪問保育の実際 居宅訪問型保育における保護者対応 P145～157 ループワーク 小テスト							教科書を一読しておくこと		
11	居宅型訪問保育の実際 子と虐待 158～169 グループワーク 小テスト							教科書を一読しておくこと		
12	居宅型訪問保育の実際 特別に配慮を要する子どもへの対応 P170～184 グループワーク 小テスト							教科書を一読しておくこと		
13	実践演習 保育技術(お世話編) P185～206 DVD「産後ケア、沐浴、ミルク」DVD「ベビーシッター保育技術マニュアル乳児の排泄、睡眠」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
14	実践演習 保育技術(遊び編) P207～217 DVD「在宅保育に役立つ遊び“幼児編、児童編”」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
15	さまざまな家庭訪問保育 P219～241 DVD「産後ケア」を視聴 小テスト							教科書を一読しておくこと		
テキスト	「家庭訪問保育の理論と実際 第2版」公益社団法人全国保育サービス協会監修 中央法規									
参考書・資料等	「ベビーシッター資格認定試験過去問題集第18回～20回」公益社団法人全国保育サービス協会「家庭訪問保育者必携ハンドブック」公益社団法人 全国保育サービス協会編集									
評価方法	定期試験（60％）小テスト（30％）レポート課題（10％）の総合評価とする。									
履修上の注意等	認定ベビーシッター資格取得のための科目であることを意識して受講すること。									

科目番号	2228	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	小林由美子		
科目名	音楽(2)										
課程	卒業必修	○	栄養士		医療		ビジネス		フードサイ エンティス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園 教諭	○	ベビー シッター		食育インス トラクター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 音楽表現の知識、技能を習得する</p> <p>テーマ 保育の現場で活用できる「幼児の歌」の弾き歌いができるようになる すでにピアノ学習歴のある人は、弾き歌いのレパートリーを数多く作る</p>										
授業の概要	音楽(1)で習得した知識、技能を発展させ、少し難しい曲を一斉に学習し、その中で譜読みが確実にできるよう、歌唱力がよりアップしていくようにする 1年次にこの中の曲を習得済みの学生は一斉練習は一緒に 行い、教員のチェックはこの表にない未チェックの曲でもよい すべての課題を終了した学生は連弾曲でさら に高度な技術を付けるようにする										
回	授 業 計 画						自主学习 ( 授業前・授業後 )				
1	「こいのぼり」を弾き歌いできるようにする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
2	「おかあさん」を弾き歌いできるようにする 「こいのぼり」をチェックする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
3	「ピクニック」を弾き歌いできるようにする 「おかあさん」をチェックする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
4	「バスごっこ」を弾き歌いできるようにする 「ピクニック」をチェックする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
5	「ハッピーバースデー」を弾き歌いできるようにする 「バスごっこ」をチェックする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
6	「手のひらを太陽に」を弾き歌いできるようにする 「ハッピーバースデー」を チェックする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
7	「ゆりかごの歌」を弾き歌いできるようにする 「手のひらを太陽に」をチェック する						よく復習し、次の課題を練習しておく				
8	「おばけなんてないさ」を弾き歌いできるようにする 「ゆりかごの歌」をチェッ クする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
9	「スイカの名産地」を弾き歌いできるようにする 「おばけなんてないさ」をチェッ クする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
10	「線路は続くよどこまでも」を弾き歌いできるようにする 「スイカの名産地」を チェックする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
11	「かまきりじいさん」を弾き歌いできるようにする 「線路はつづくよどこまでも」 をチェックする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
12	「アイスクリームのうた」を弾き歌いできるようにする 「かまきりじいさん」を チェックする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
13	「朝のうた」を弾き歌いできるようにする 「アイスクリームのうた」をチェックす る						よく復習し、次の課題を練習しておく				
14	「さよならのうた」を弾き歌いできるようにする 「朝のうた」をチェックする						よく復習し、次の課題を練習しておく				
15	「おかえりのうた」を弾き歌いできるようにする 「さよならのうた」をチェッ クする						よく復習し、試験に備える				
テキスト	「弾き歌いー簡易楽譜集」(小林・福土編集)										
参考書・資料等	ピアノ連弾 スタジオジブリ名曲集 デプロMP										
評価方法	期末に演奏形式で弾く試験をし、日頃の受講態度や弾き歌いの進捗状況も合わせて評価する										
履修上の注意等	受講したことを理解し、次の授業日までに課題を完成するよう努力する。										

科目番号	2228	単位	1	授業形態	演習	開講時期	後期	担当	小林由美子		
科目名	音楽(2)										
課程	卒業必修	○	栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭	○	ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 音楽表現の知識、技能を習得する</p> <p>テーマ 保育の現場で活用できる「幼児の歌」の弾き歌いができるようになる すでにピアノ学習歴のある人は、弾き歌いのレパートリーを数多く作る</p>										
授業の概要	<p>前期で習得した知識、技能を発展させ、さらに高度な曲を一斉に学習し、その中で譜読みが確実にできるよう、歌唱力がよりアップしていくようにする。1年次にこの中の曲を習得済みの学生は一斉練習は一緒に行い、教員のチェックはこの表にない未チェックの曲でもよい。すべての課題を終了した学生は連弾曲でさらに高度な技術を付けるようにする</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	「そうだったらいいのにな」を弾き歌いできるようにする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
2	「さんぼ」を弾き歌いできるようにする「そうだったらいいのにな」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
3	「おべんとう」を弾き歌いできるようにする「さんぼ」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
4	「おはようのうた」を弾き歌いできるようにする「おべんとう」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
5	「森のくまさん」を弾き歌いできるようにする「おはようのうた」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
6	「やぎさんゆうびん」を弾き歌いできるようにする「森のくまさん」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
7	「きのこ」を弾き歌いできるようにする「やぎさんゆうびん」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
8	「楽しいね」を弾き歌いできるようにする「きのこ」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
9	「ジングルベル」を弾き歌いできるようにするをチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
10	「あわてんぼうのサンタクロース」を弾き歌いできるようにする「ジングルベル」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
11	「一年生になったら」を弾き歌いできるようにする「あわてんぼうのサンタクロース」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
12	「大きな古時計」を弾き歌いできるようにする「一年生になったら」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
13	「七つの子」を弾き歌いできるようにする「大きな古時計」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
14	「ゆき」を弾き歌いできるようにする「七つの子」をチェックする							よく復習し、次の課題を練習しておく			
15	「思い出のアルバム」を弾き歌いできるようにする「ゆき」をチェックする							よく復習し、試験に備える			
テキスト	「弾き歌いー簡易楽譜集」（小林・福士編集）										
参考書・資料等	ピアノ連弾 スタジオジブリ名曲集 デプロMP										
評価方法	期末に演奏形式で弾く試験をし、日頃の受講態度や弾き歌いの進捗状況も合わせて評価する										
履修上の注意等	受講したことを理解し、次の授業日までに課題を完成するよう努力する。										

科目番号	2250	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	葛西克行		
科目名	図画工作(2)										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標          幼児の造形表現における生活環境に関する理解を深め、造形活動に適した環境作りや鑑賞活動を計画することができる。</p> <p>テーマ          意欲的な造形活動を促す環境構成に関する実践的な教材研究。</p>										
授業の概要	<p>様々な素材を使った造形活動をとおり、個人及びグループにおいて独自の題材を構想し、指導計画と計画書をもとにした試作品を作成する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	授業ガイダンス 造形表現の意義							事前：「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」の熟読。			
2	壁面の装飾(1) グループ協議、課題演習							事前：絵の具セット、そのほか装飾に使えるものの準備。 事前：壁面装飾のアイデアの熟思。			
3	壁面の装飾(2) 課題演習										
4	壁面の装飾(3) 課題演習							事後：課題作品提出。			
5	壁面の装飾(4) グループ計画書作成、試作							事前：壁面装飾のアイデアの熟思。			
6	壁面の装飾(5) 試作										
7	壁面の装飾(6) 試作、反省、計画書修正							事後：グループ計画書、試作品提出。			
8	写真集の作成(1) 課題演習							事前：写真集のテーマの熟思、スマホ(あるいはデジカメ)の準備。			
9	写真集の作成(2) 課題演習							事前：写真集のレイアウトの熟思。 事前：刺繍針、カッターの準備。			
10	写真集の作成(3) 課題演習							事前：のり、両面テープ、はさみの準備。			
11	写真集の作成(4) 課題演習							事前：生地、カッター、はさみの準備。			
12	写真集の作成(5) 課題演習							事後：課題写真集の提出。			
13	紙を使った造形表現(1) 課題演習							事前：制作する動物の熟思。 事前：新聞紙、のり、ホチキスの準備。			
14	紙を使った造形表現(2) 課題演習										
15	紙を使った造形表現(3) 課題演習							事後：課題作品提出。			
テキスト	なし										
参考書・資料等	幼稚園教育要領解説(フレーベル館)、保育所保育指針解説(フレーベル館)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼児造形の基礎(萌文書林)										
評価方法	課題作品及びレポート(70%)、授業への取り組み状況(30%)										
履修上の注意等	履修者は授業ガイダンスを必ず履修すること。										

科目番号	2250	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	葛西克行		
科目名	図画工作(2)										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標          幼児の造形表現における生活環境に関する理解を深め、造形活動に適した環境作りや鑑賞活動を計画することができる。</p> <p>テーマ          意欲的な造形活動を促す環境構成に関する実践的な教材研究。</p>										
授業の概要	<p>様々な素材を使った造形活動をとおり、個人及びグループにおいて独自の題材を構想し、指導計画と計画書をもとにした試作品を作成する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	段ボールを使った造形表現(1) グループ協議、課題演習							事前：絵の具セット、装飾に使えるものの準備。 事前：制作する動物、作り方の熟思。			
2	段ボールを使った造形表現(2) 課題演習										
3	段ボールを使った造形表現(3) 課題演習										
4	段ボールを使った造形表現(4) 課題演習							事後：課題作品提出。			
5	段ボールを使った造形表現(5) グループ計画書作成、試作							事前：段ボールを使った造形活動のアイデアの熟思。			
6	段ボールを使った造形表現(6) 試作										
7	段ボールを使った造形表現(7) 試作、反省、計画書修正							事後：グループ計画書、試作品提出。			
8	土粘土を使った造形活動(1) 課題演習							事前：タオル、ゴミ袋の準備			
9	土粘土を使った造形活動(2) 課題演習										
10	土粘土を使った造形活動(3) 課題演習							事後：課題作品提出。			
11	映像メディアを使った造形表現(1) PowerPointの基本操作							事前：PowerPointの基本操作の熟思。			
12	映像メディアを使った造形表現(2) PowerPointの基本操作										
13	映像メディアを使った造形表現(3) 課題演習							事前：文字を使ったアニメーションのアイデアの熟思。			
14	映像メディアを使った造形表現(4) 課題演習										
15	映像メディアを使った造形表現(5) 課題演習							事後：課題作品提出。			
テキスト	なし										
参考書・資料等	幼稚園教育要領解説(フレーベル館)、保育所保育指針解説(フレーベル館)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼児造形の基礎(萌文書林)										
評価方法	課題作品及びレポート(70%)、授業への取り組み状況(30%)										
履修上の注意等											

科目番号	2251	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	田中 恵
科目名	体育(2)		栄養士		医療		ビジネス		実務経験
課程	卒業必修	保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		フードサイエンス ト 食育インストラクター	
到達目標及びテーマ	<p>到達目標          幼児の運動遊びの指導法を学び、指導力を身につける。</p> <p>テーマ          幼児の運動遊びの指導内容・指導法を理解する。</p>								
授業の概要	体育(1)での講義内容を基礎として、運動遊びを展開するうえで環境構成に配慮した指導上の留意点や安全管理等について理解を深め、幼児の身体の発育・発達に即した運動遊びの内容と指導法について学習する。								
回									自主学习(授業前・授業後)
1	講義内容を把握し、幼児の運動遊びの内容や効果について学ぶ。(天野式幼児リトミックの内容も取り入れる。)							講義内容をノートにまとめる。	
2	馴染みのある伝承遊びを応用させて、遊びの変化を考える。							伝承遊びを調べる。	
3	さまざまな鬼遊びを体験する。さらに、鬼遊びのルールに変化を加えた方法を学ぶ。							鬼遊びのルールを考える。	
4	身近な素材を利用した遊び 新聞紙・ダンボール・布など身近な素材を利用した遊びを体験する。							遊びを考える。(新聞紙・布)	
5	身近な素材を利用した遊び 新聞紙・ダンボール・布など身近な素材を利用した遊びを体験する。							遊びを考える。(ダンボール)	
6	マットを使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
7	跳び箱を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
8	鉄棒を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
9	平均台を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
10	運動遊びの指導法 指導計画の立案方法を学習する。							運動遊びの活動内容を考える。	
11	運動遊びの指導法 年齢別の運動遊びについての指導案を作成し、指導法を研究する。							指導案を作成する。	
12	運動遊びの指導法 グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。							模擬保育の準備をする。	
13	運動遊びの指導法 グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。							模擬保育の準備をする。	
14	運動遊びの指導法 グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。							模擬保育の準備をする。	
15	グループごとに模擬保育の内容を振り返り、改善点などを話し合う。							模擬保育の内容を振り返る。	
テキスト	「幼児の楽しい運動学習」不味堂出版								
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。								
評価方法	グループ発表の内容(50%)定期的に動きの習得状況を確認(50%)して総合的に評価する。								
履修上の注意等	講義内容はノートにまとめておくこと。								



科目番号	2252	単位	2	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	田中・佐藤睦		
科目名	子どもの文化と遊び										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス エンティスト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 地域に伝わる遊びや保育における年中行事での遊びを理解し、遊びの楽しさを子どもに伝える方法を身につける。</p> <p>テーマ 遊びの特性を理解する。 遊びの展開方法を学ぶ。</p>										
授業の概要	<p>児童文化や児童文化財についての知識を深め、地域に伝わる遊びや保育における年中行事の遊びを調査する。その中から子どもに伝承したい遊びを厳選したうえで、子どもの年齢に適した遊びの内容や遊び方など保育の展開方法を学ぶ。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	児童文化・児童文化財について理解を深める。							地域に伝わる遊びについて下調べをする。			
2	地域に伝わる遊びについて調べる。							地域に伝わる遊びについて下調べをする。			
3	子どもに伝えたい遊びをとりあげ、遊びの内容や遊び方を考える。							子どもに伝えたい遊びを調べる。			
4	遊びに必要な材料を考える。							使用する材料を考える。			
5	遊びに必要な道具を準備する。							作り方を調べる。			
6	実際の保育現場を想定しながら、活動内容や展開方法を考える。							グループごとに打ち合わせをする。			
7	遊びの実践 子どもに遊びを伝える。							発表の準備をする。			
8	遊びの内容や展開方法について振り返る。							内容をノートにまとめる。			
9	子どもに伝えたい遊びをとりあげ、遊びの内容や遊び方を考える。							子どもに伝えたい遊びを調べる。			
10	遊びに必要な材料を考える。							使用する材料を考える。			
11	遊びに必要な道具を準備する。							作り方を調べる。			
12	実際の保育現場を想定しながら、活動内容や展開方法を考える。							グループごとに打ち合わせをする。			
13	遊びの実践 子どもに遊びを伝える。							発表の準備をする。			
14	遊びの内容や展開方法について振り返る。							内容をノートにまとめる。			
15	これまでの活動について振り返る。							レポートを作成する。			
テキスト	なし										
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。										
評価方法	グループ活動（50％） レポート課題（50％）										
履修上の注意等	日頃から、子どもの遊びに関心を持つこと。										

科目番号	2253	単位	2	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	江苺川 淳子		
科目名	子どものための総合演習										
課程	卒業必修		栄養士		医療		ビジネス		フードサイエンス ト	実務経験	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		食育インストラクター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 1.保育に関する科目横断的な学習能力や保育技術を習得する。2.課題について協働しながら現状分析、考察、検討をする力を養う。3.問題解決の対応、判断について学びを深める。</p> <p>テーマ 自らの学びを振り返り、総合的な演習として子どもの演劇に取り組みながら、自主的な活動を行う。その中で、保育者として必要な知識・技能を習得する。</p>										
授業の概要	現代の保育を巡る問題を考えながら、「子どもに伝えたい大切なこと」をテーマに具体的な内容をグループでの討議により決定する。目標達成に向けて、発表までの計画・脚本・衣装・舞台・作曲等のすべてを考えて進める。その中で「仲間と心を合わせて目標に向かう力」「コミュニケーション能力」「表現力」「話す力」を身につけていく。子どもが楽しめる演目を演じ発表する。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	・イントロダクション、保育者の役割や保育技術について 演目ごとについてチーム分けをする。演目について討議(内容・役割などを計画)する。							講義後に活動を記録する 演目の内容について各チームで調べておく			
2	演目の決定から台本作りと計画表の提出(計画表をチーム内で把握)							講義後に活動を記録する			
3	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう (台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等)							講義後に活動を記録する			
4	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう (台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等)							講義後に活動を記録する			
5	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう (台本・衣装・舞台背景・ポスター作り・冊子作り等)							講義後に活動を記録する			
6	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう (台本・衣装・舞台背景・ポスター作り・冊子作り等)							講義後に活動を記録する			
7	リハーサル リハーサル後、改善点について話し合う							講義後に活動を記録する			
8	発表に向けて改善点について確認し、準備や練習を行う							講義後に活動を記録する			
9	演目の発表							講義後に活動を記録する			
10	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう							講義後に活動を記録する			
11	リハーサル リハーサル後、改善点について話し合う							講義後に活動を記録する			
12	発表に向けて改善点について確認し、準備や練習を行う							講義後に活動を記録する			
13	演目の発表							講義後に活動を記録する			
14	グループで計画や準備、発表を振り返り、課題についてまとめる							講義後に活動を記録する レポートを作成する			
15	ディスカッション、まとめ							講義後に活動を記録する レポートを提出する			
テキスト	特になし。必要な場面で資料配布をする。										
参考書・資料等	「こどものミュージカル」城野賢一・清子=監修・振付 ドレミ楽譜出版社 「実習に役立つパネルシアターハンドブック」古宇田亮順 萌文書林 「発表会のための年齢別劇・オペレッタ&合奏」 チャイルド本社										
評価方法	グループでの計画・準備への参加状況、発表の完成度・チーム内の相乗効果による成長度・提出された活動記録ノート(70%)、レポート提出(30%)の総合評価をする。										
履修上の注意等	保育職をイメージしてグループワークを進め、発表内容をより良くするために協働していくこと。ノート(A4サイズ)を準備し、講義終了後毎回、活動内容を記入していくこと。(最終講義後に活動ノート提出する)										